



2021年度  
第1四半期

# 決算説明資料

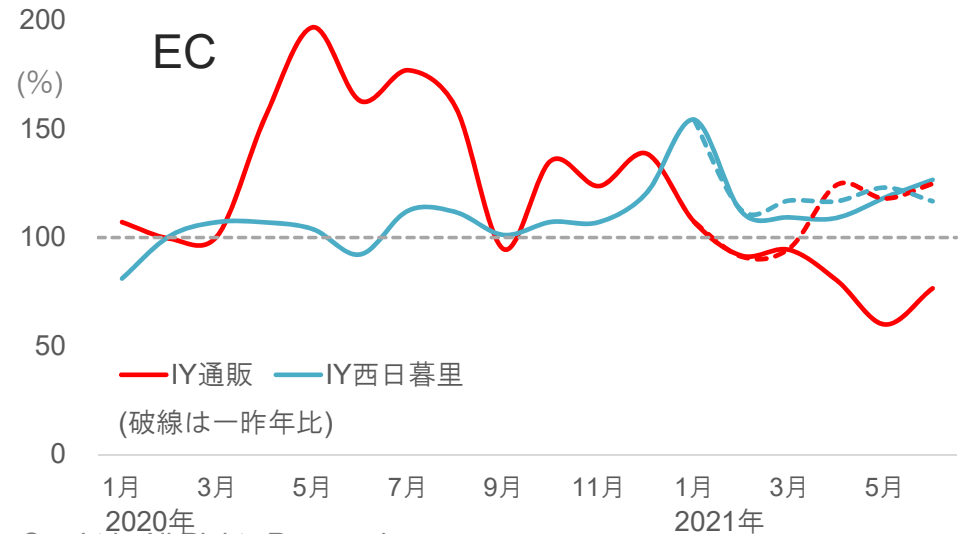
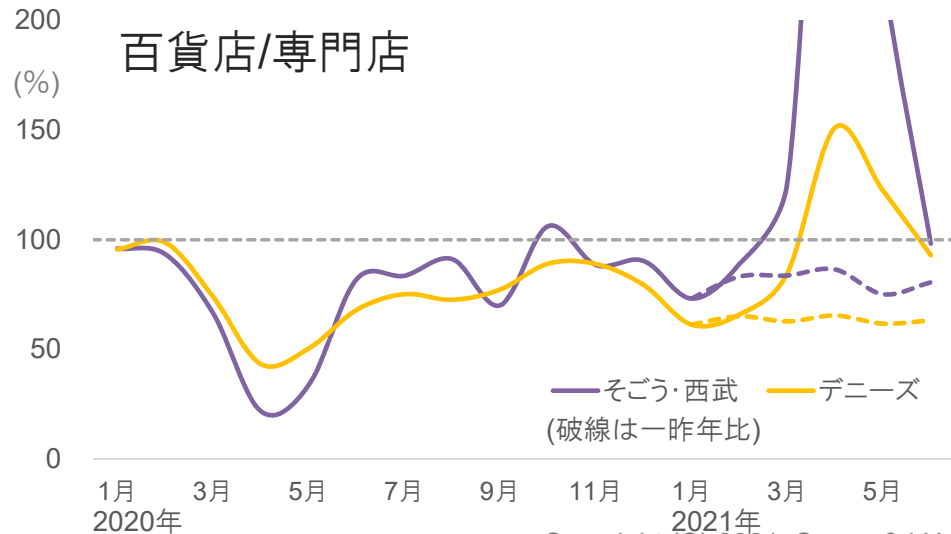
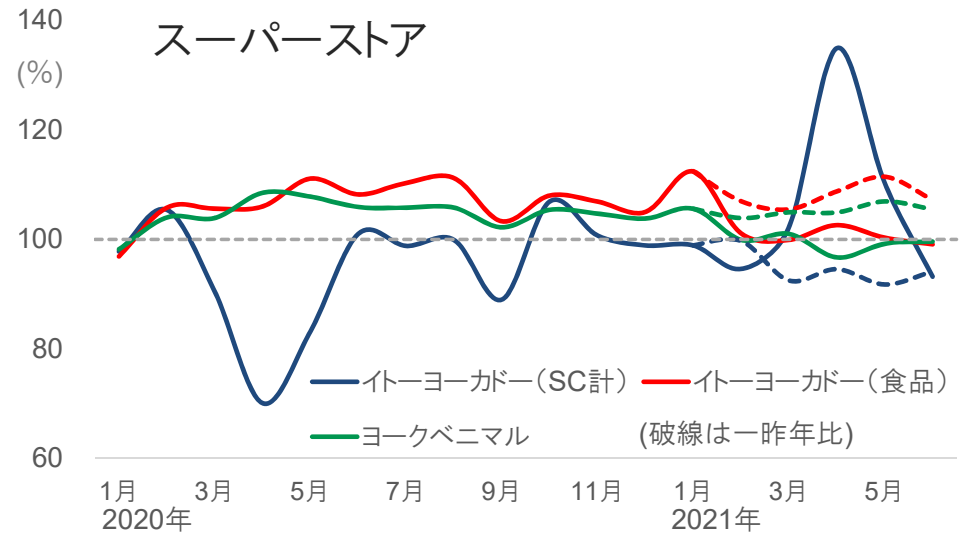
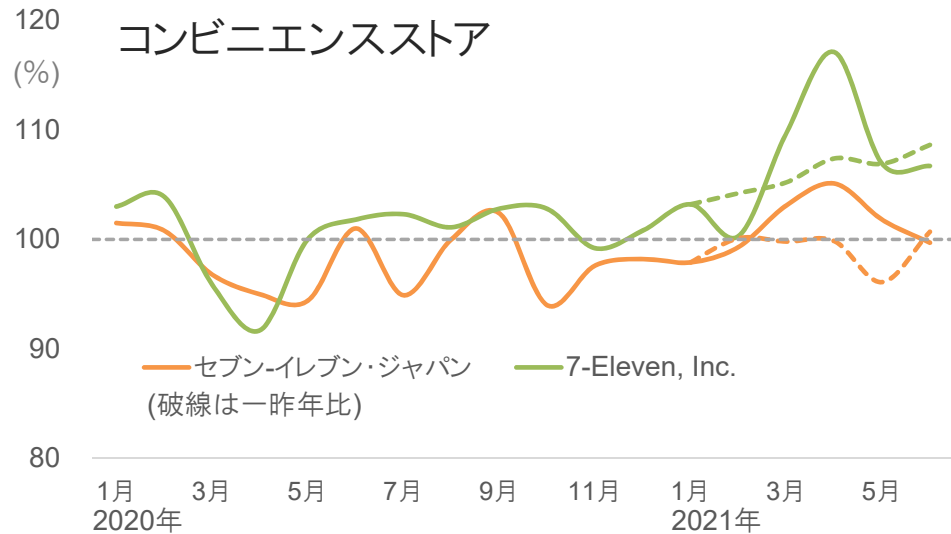
2021年7月8日

株式会社セブン&アイ・ホールディングス

取締役 常務執行役員

伊藤 順朗

# 既存店売上前年比推移 (6月は速報値)



# 1Q連結業績ハイライト

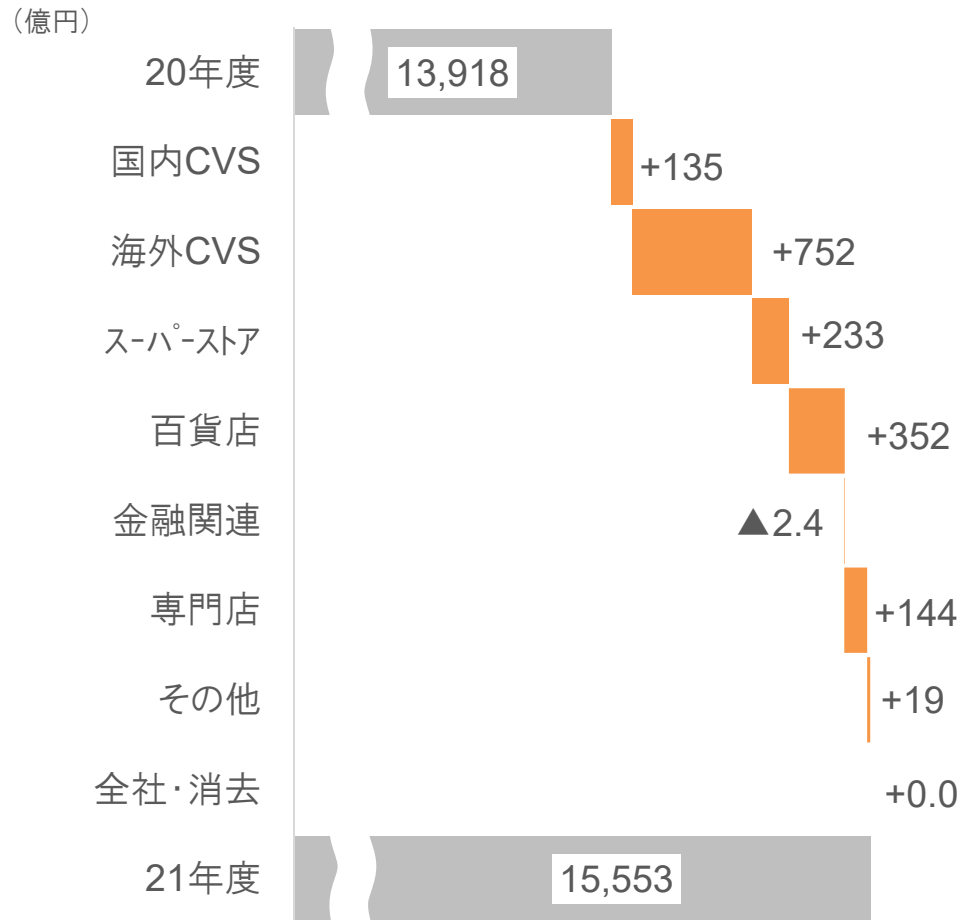
(億円、%)

	20年度	21年度	21年度		
			前年比	前年差	一昨年比
グループ売上*	26,607	28,714	107.9	+2,107	99.2
営業収益	13,918	15,553	111.8	+1,635	97.4
営業利益	713	775	108.6	+61	85.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	139	430	308.7	+290	82.6
<b>EBITDA</b> (営業利益+減価償却+のれん償却)	1,361	1,456	107.0	+95	95.9

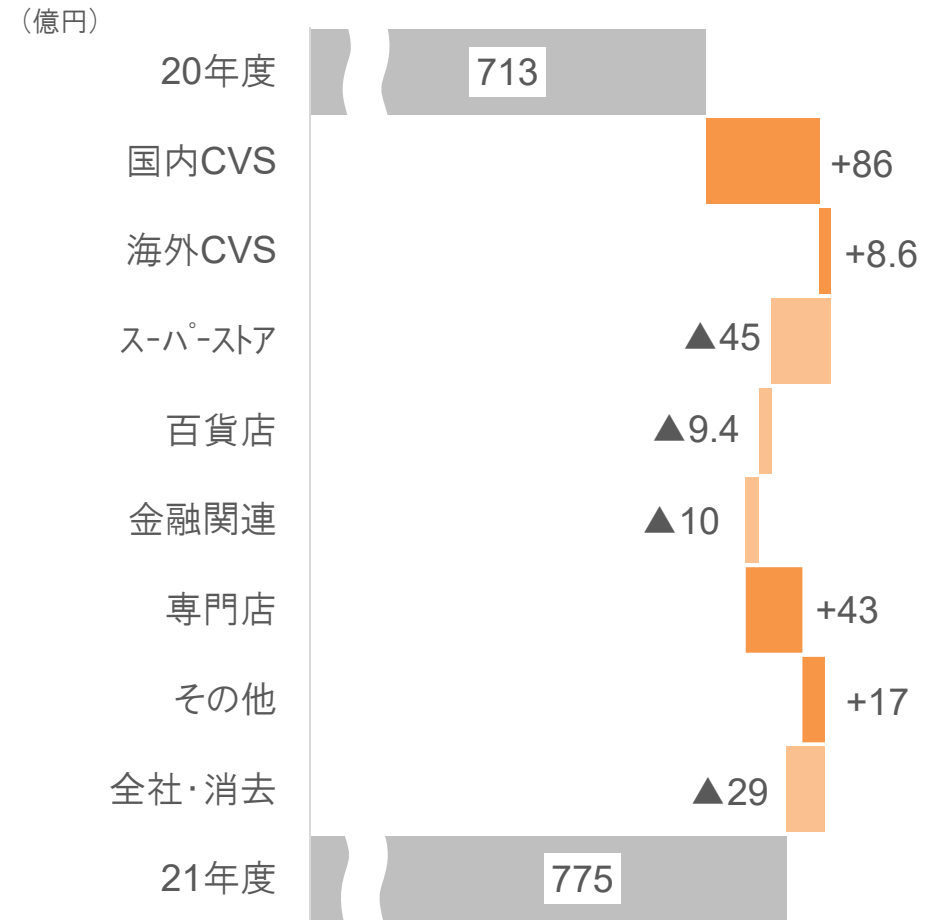
\*グループ売上: セブン - イレブン・ジャパン、セブン - イレブン・沖縄及び7-Eleven, Inc.における加盟店売上を含めた数値  
為替換算レート: U.S.\$1=106.09円 1元=16.38円

# 1Qセグメント別前期増減

## 営業収益



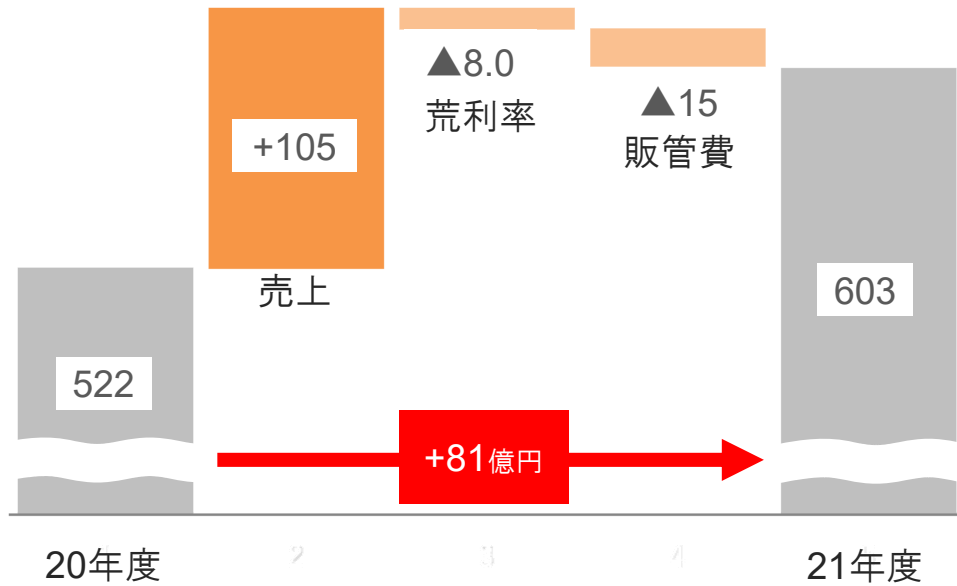
## 営業利益



注) Speedwayの取得は2Qとなるため、含まれておりません

# 国内コンビニエンスストア事業 セブン-イレブン・ジャパン ①

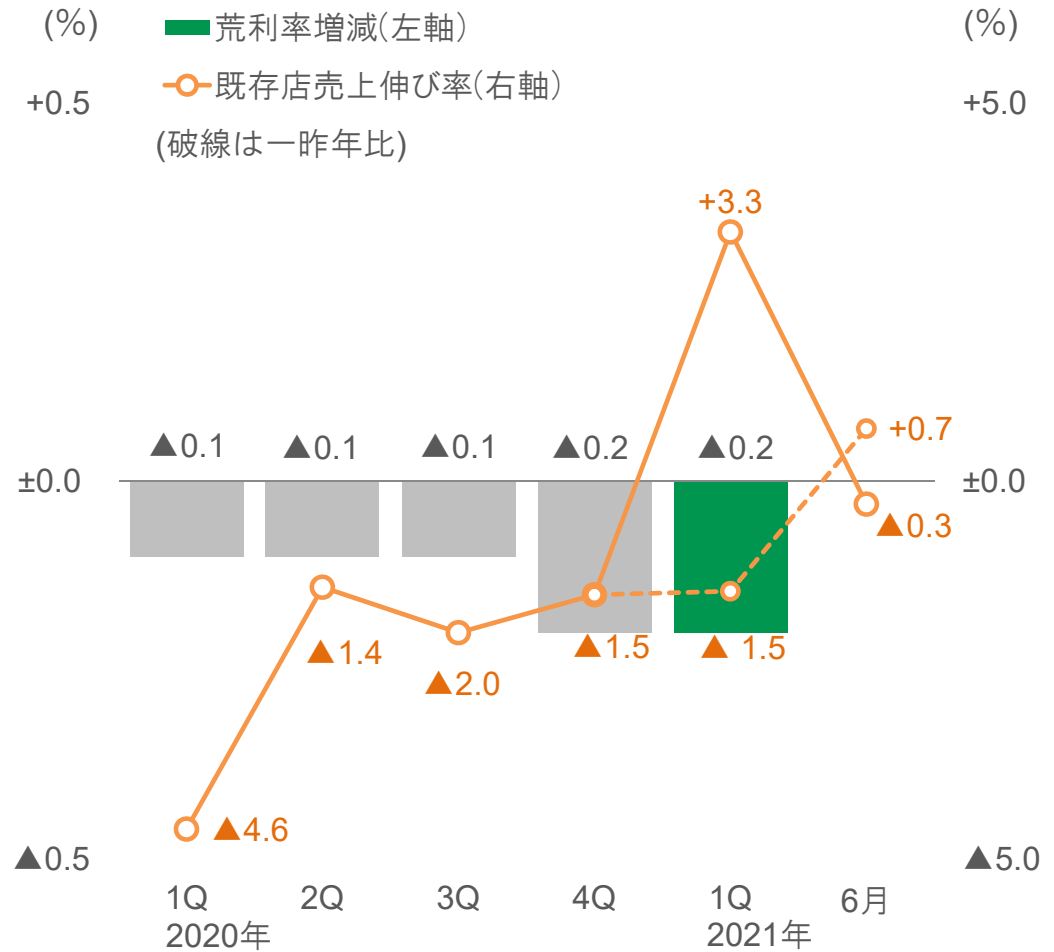
## 営業利益増減 (億円)



EBITDA* (前年比/差)	794億円	
	111.8%	+83億円

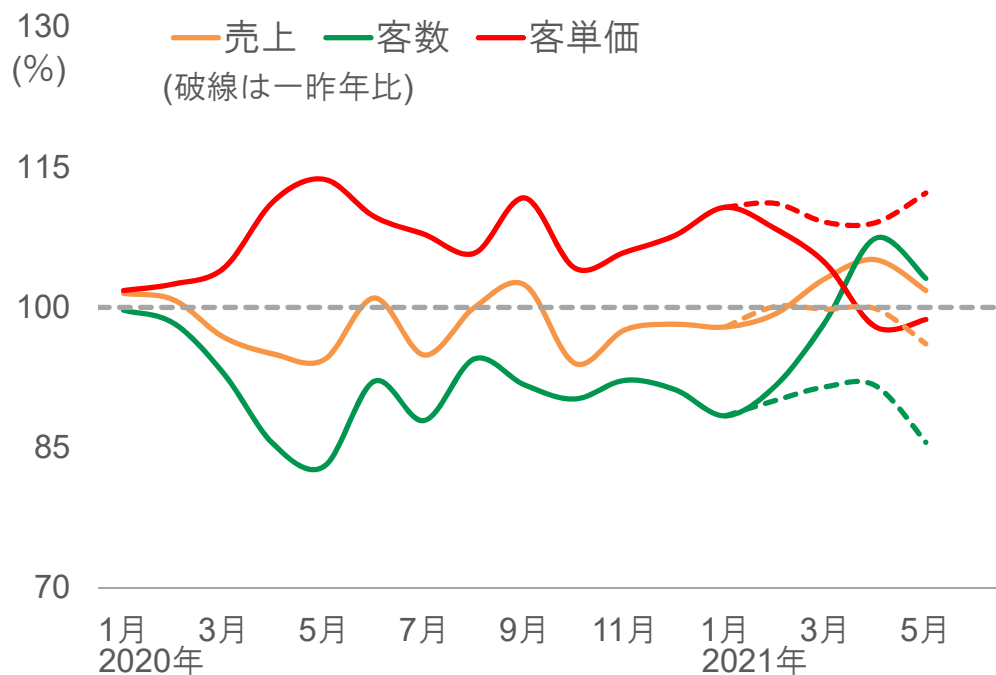
\* 営業利益+減価償却費

## 既存店売上・荒利率 (6月は速報値)

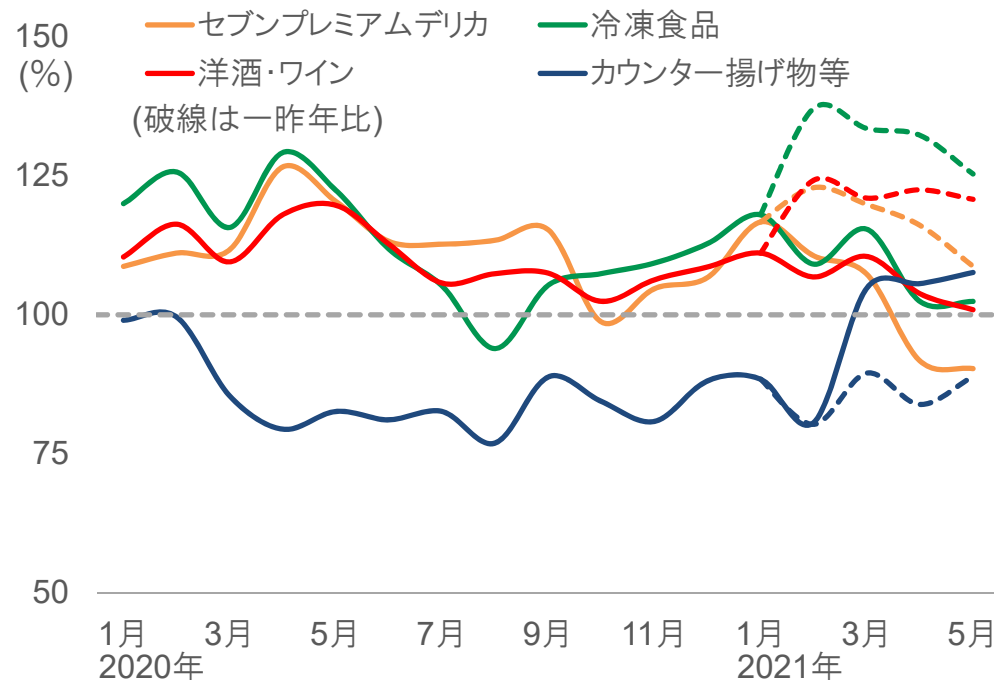


# 国内コンビニエンスストア事業 セブン-イレブン・ジャパン ②

## 客数・客単価



## カテゴリ別売上



買い回り店舗数の減少

まとめ買いの増加

小 商 圏 化 の 加 速

内食商品ニーズの拡大

素材系商品の伸長  
(野菜、果物等)

使われ方の多様化

# 国内コンビニエンスストア事業 セブン-イレブン・ジャパン ③

消費行動変化

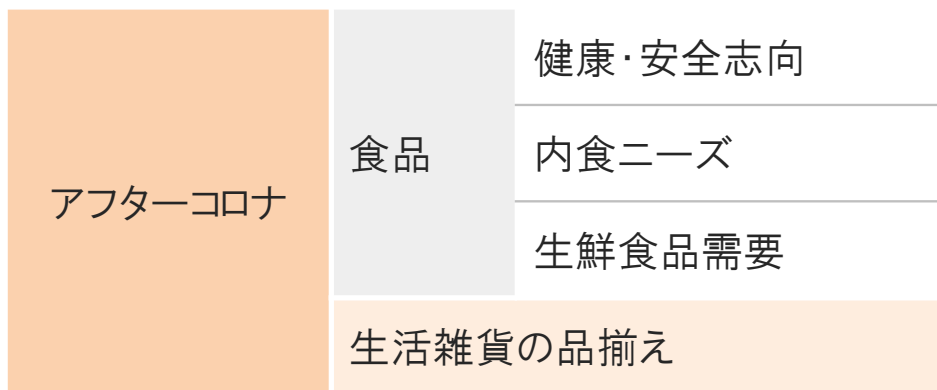
立地別の品揃え

品揃えに応じたレイアウト

セブン-イレブンの使われ方変化

従来

食品中心の購買



品 揃 え の 幅 を 拡 大

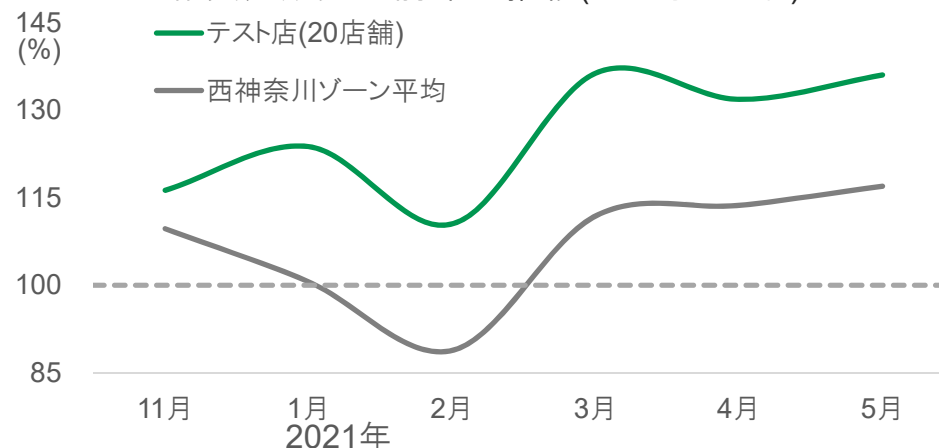
DAISO商品テスト販売  
(20年12月から)

湘南地区64店舗\*  
ゴンドラ3本又は5本展開

\*2021年5月末現在

## DAISO商品テスト販売検証

雑貨分類売上前年差推移(先行導入20店)

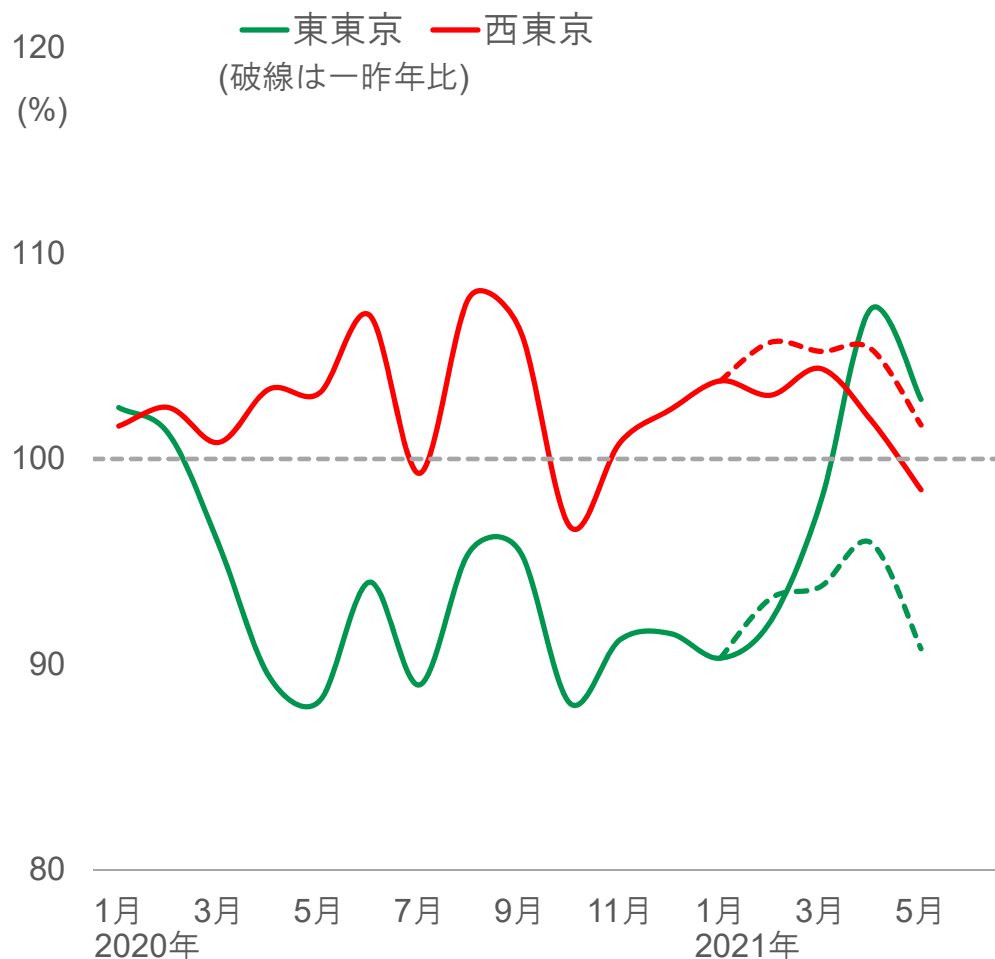


生活雑貨、行楽用品、清掃用品が伸長

ワンストップショッピングニーズに対応

# 国内コンビニエンスストア事業 セブン-イレブン・ジャパン ④

## 地域別売上



## 商圈に合わせた売場対応の深化

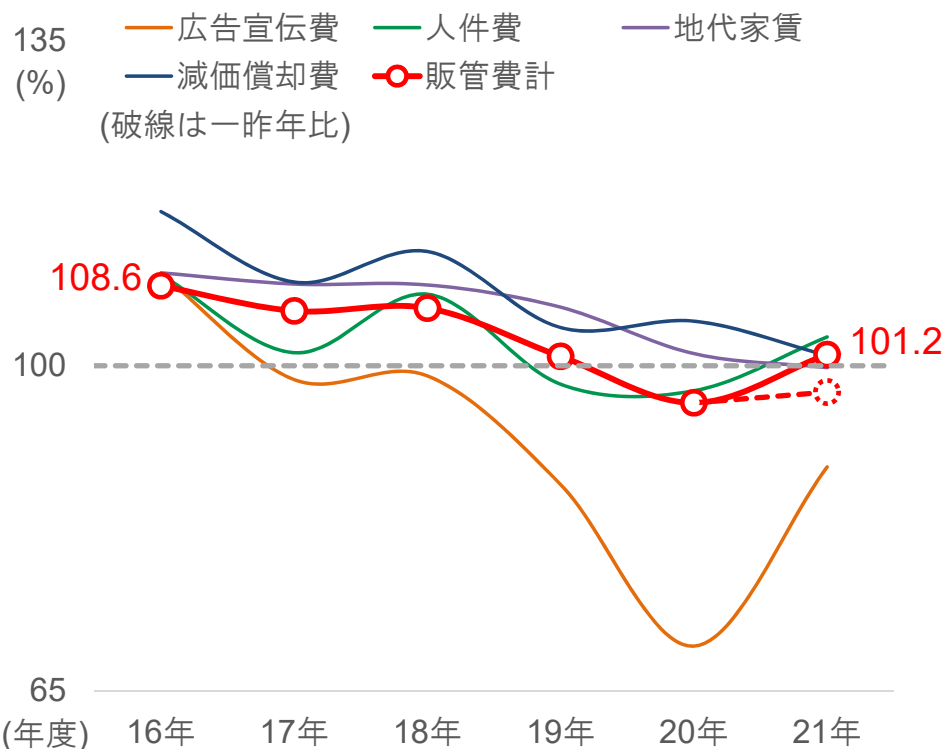
	住宅地・郊外店舗	事業所立地
	新レイアウト2020	商圈変化の検証
20年度末	約5,000店	約680店
21年度1Q	約6,000店	約960店
21年度末(予定)	約12,000店	約1,500店

事業所立地の住宅立地化への対応



# 国内コンビニエンスストア事業 セブン-イレブン・ジャパン ⑤

## 1Q販管費前年比推移



販管費合計は一昨年を下回る

## 本部コスト構造改革(19年度下期～)

会計改革	店舗開発人員適正化	地代家賃適正化
<ul style="list-style-type: none"> <li>システム化 (ペーパーレス化)</li> <li>業務内製化</li> <li>地区事務所統廃合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>配置転換による人員適正化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不採算店閉店</li> <li>家賃交渉継続 (売上・家賃のバランス)</li> </ul>

### 会計改革の効果(主な改善内容)

会計処理業務の生産性向上

帳票配送回数の削減

外部委託業務の内製化

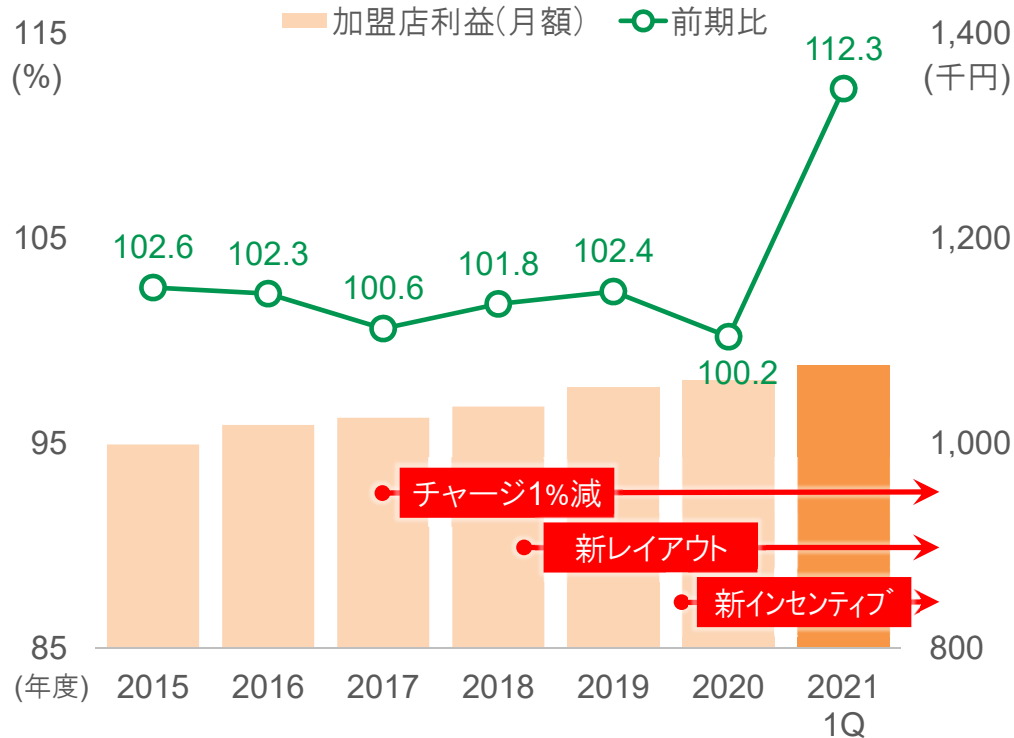
地区事務所面積の削減

20年度  
約▲10億円  
(18年度比)

コスト構造改革は着実に進捗

# 国内コンビニエンスストア事業 セブン-イレブン・ジャパン ⑥

## 加盟店利益推移



## 持続的成長に向けた取り組み

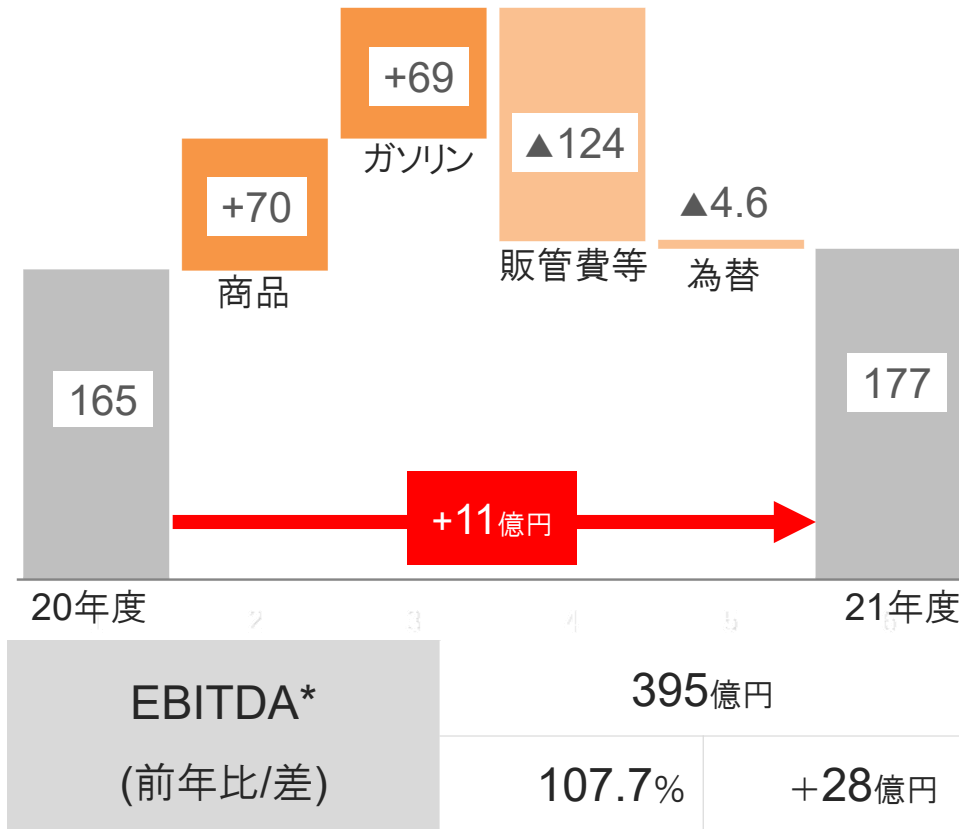
加盟店・本部の関係性強化	
2020年度	新インセンティブ導入 コロナ支援策
	フードロス削減 (エシカルPJ、長鮮度化)
2021年度	コミュニケーション強化
	店舗業務効率化 (セルフレジ導入等)
拡大戦略による加盟店利益の増加へ	
2021年度	トップラインの拡大 (立地別対応の推進)
	ラストワンマイル (ネットコンビニ拡大)
	効果的な販促施策
個店カウンセリング強化	
店舗業務効率化 (IT技術活用)	
ESG (環境配慮型店舗)	

攻めのサポートにシフトし売上・荒利の拡大による利益成長を図る

\*2020年度の数値にはCOVID-19に係る加盟店支援を含む

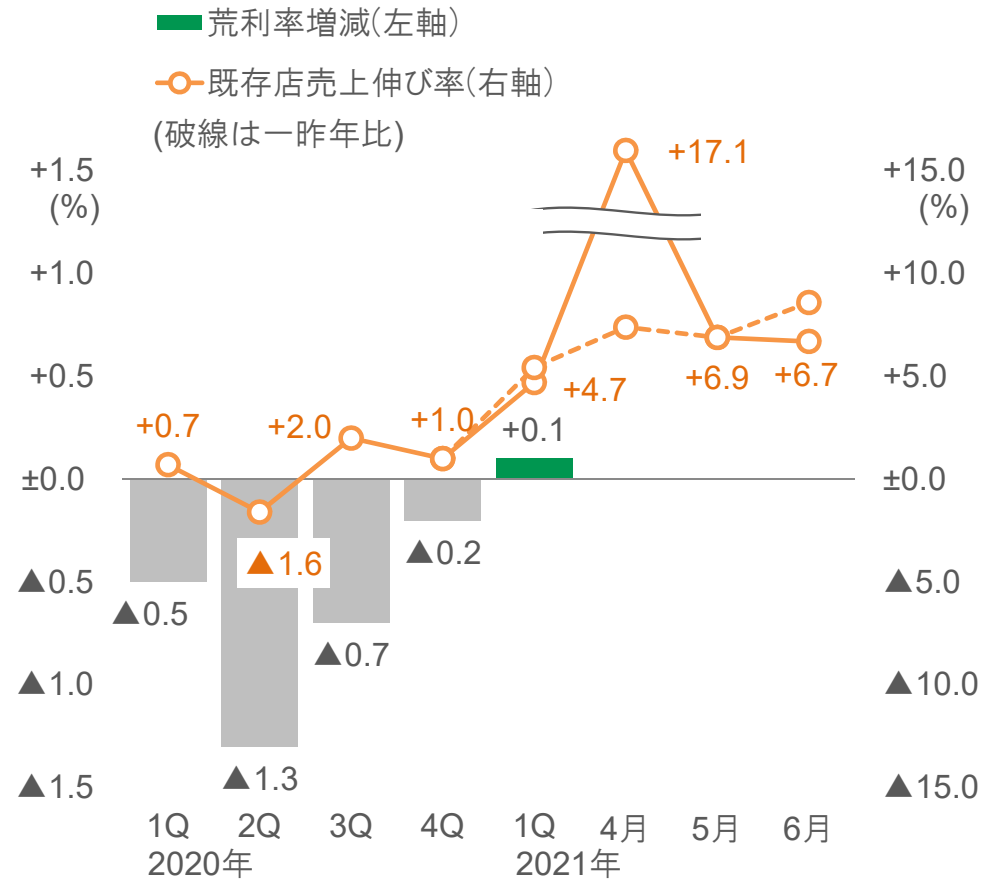
# 海外コンビニエンスストア事業 7-Eleven, Inc. ①

営業利益増減 (億円)



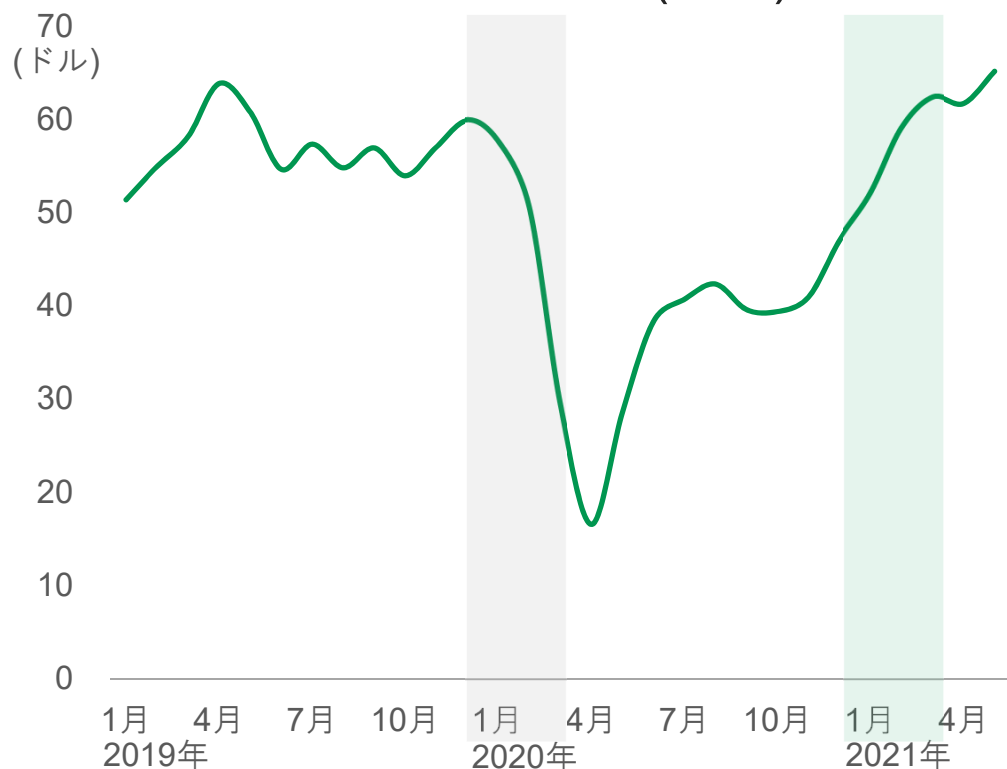
\* 営業利益+減価償却費

既存店売上・荒利率 (6月は速報値)

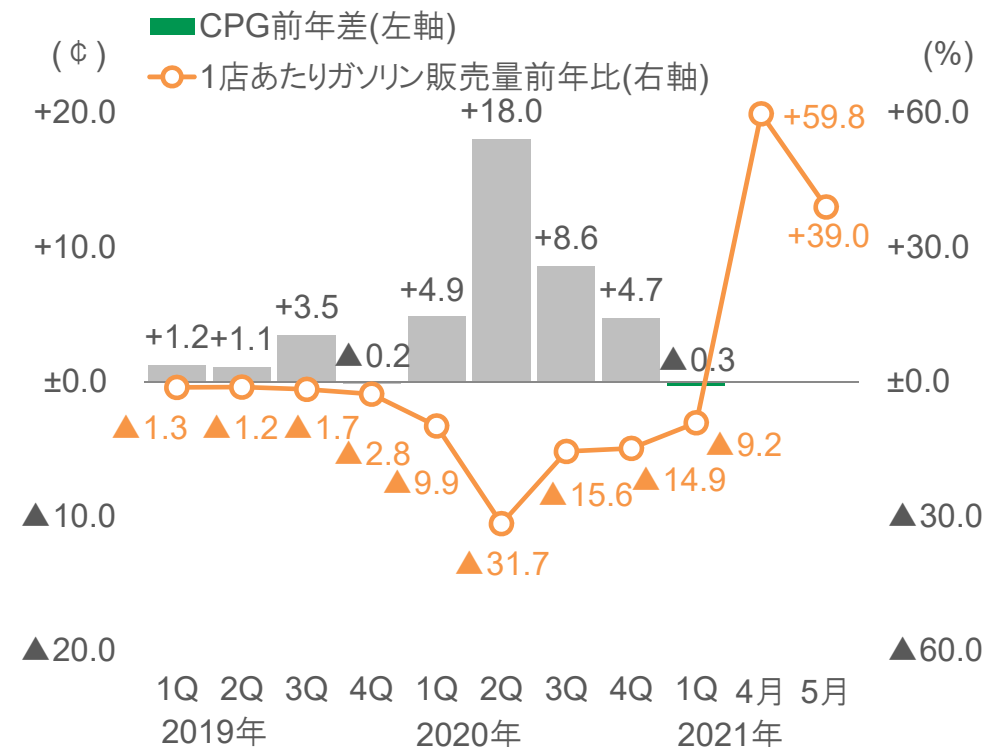


# 海外コンビニエンスストア事業 7-Eleven, Inc. ②

## 原油価格推移 (WTI)



## ガソリン販売量・荒利(CPG)



**1Q ガソリン荒利 : \$+64M (+15.8%)**

# 海外コンビニエンスストア事業 7-Eleven, Inc. ③

## 使われ方の変化(1月~5月)

コロナ禍(20年度)に伸長し一巡しても伸びている商品

(売上前年比:%)	20年度	21年度
冷凍食品	114.3	113.4
アルコール	116.4	106.7
非食品(生活雑貨)	107.4	115.1

## 19年度水準以上に回復した商品

(19年度比:%)	20年度	21年度
ホットフード	98.9	116.2
ソフトドリンク	97.8	112.2
加工食品(菓子等)	95.0	103.9

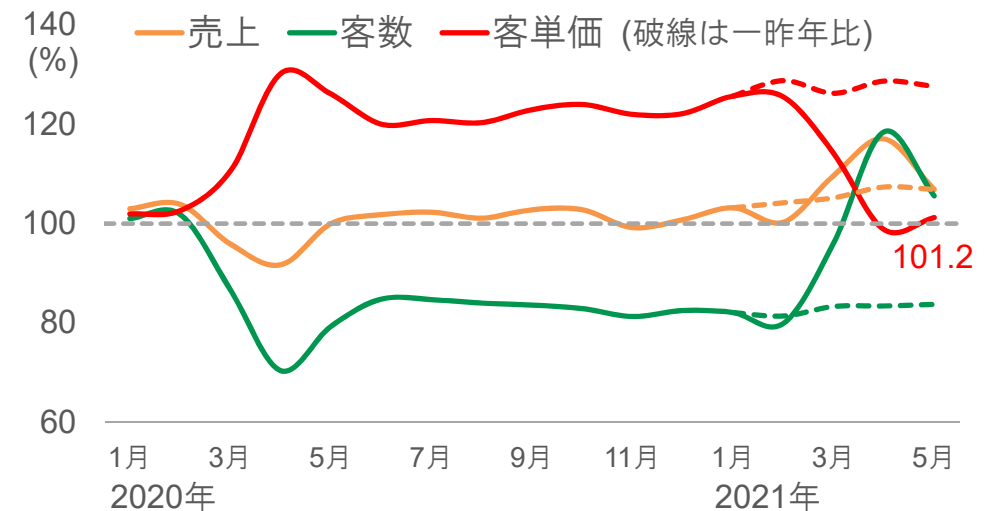
## 売上の伸長が継続

新たな顧客の獲得

+

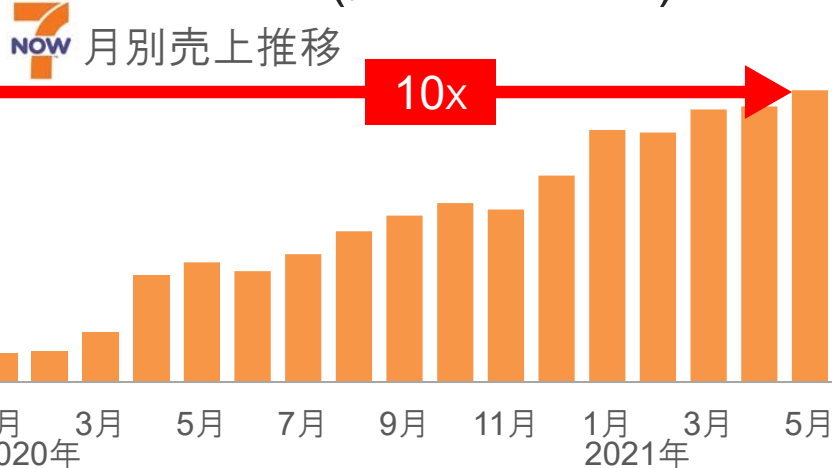
モビリティの回復

消費行動の変化による使われ方変化は定着



# 海外コンビニエンスストア事業 7-Eleven, Inc. ④

## 7NOW(配達サービス)



先行実施店:960店の実績(2021年5月)

件数 / 日 / 店	15.6件 (20年1月度の約3.9倍)
客単価	\$14.27 (店頭の約1.7倍)
配達時間	~33分 (業界最速クラス)

約3,890店導入済(21年5月末現在)

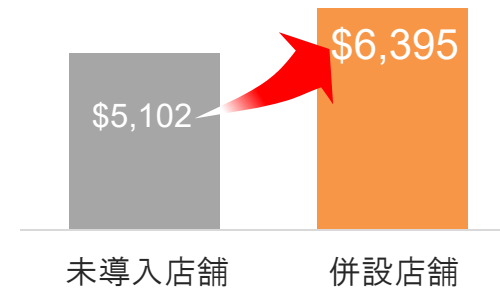
## レストラン事業の取組み

新鮮な素材を店内調理による高品質商品の提供  
 デリバリー+ドライブスルーへの対応

デリバリー需要の拡大  
 FFレストランとの競争力

売上・利益の拡大

平均日販の押し上げ  
 (レストラン併設店舗)



\*2020年度実績

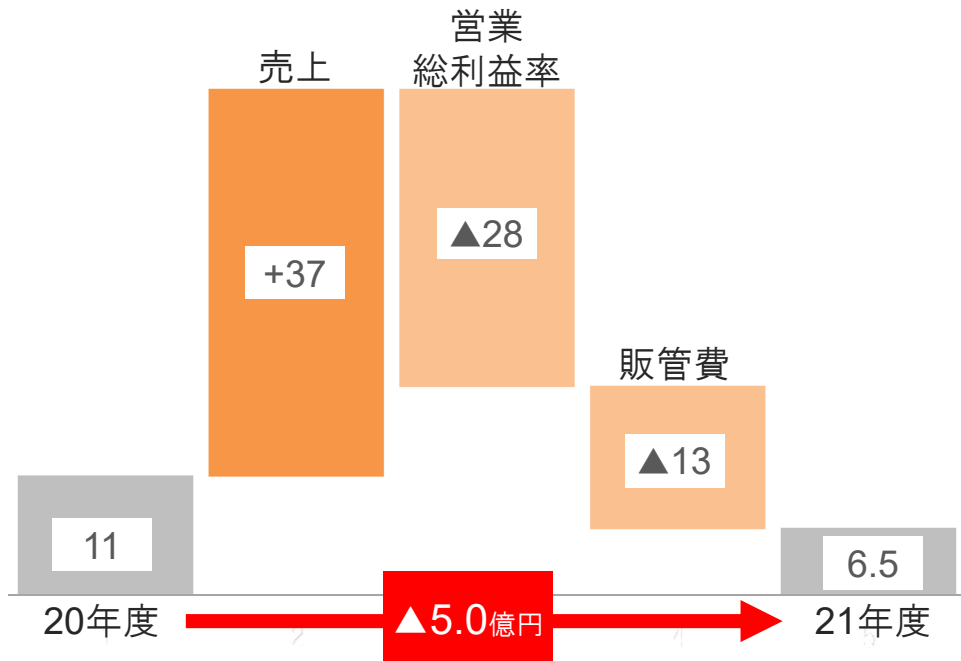
取扱い店舗(予定)

2021年度	約600店舗
--------	--------



# スーパーストア事業 イトヨーカ堂 ①

## 営業利益増減 (億円)



EBITDA* (前年比/差)	37億円
	100.3% +0.1億円

\* 営業利益+減価償却費

## 店舗分類別増減要因

構造改革店舗	+12億円
食品館、ザ・プライスを分割*	▲3.7億円
新店・閉店	+1.7億円
その他店舗	▲15億円

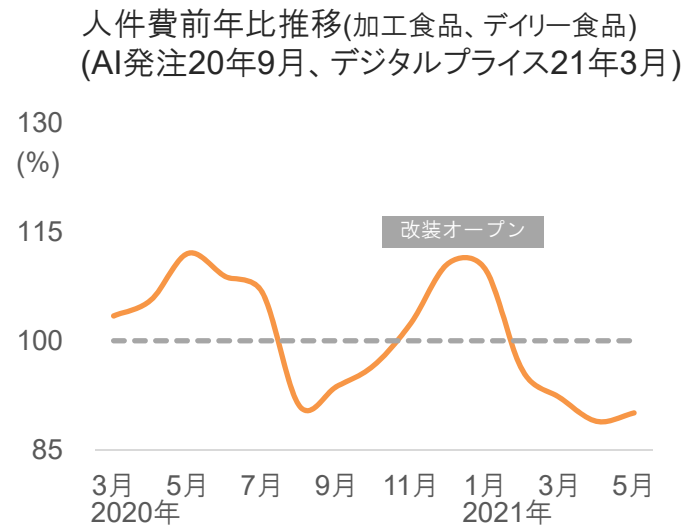
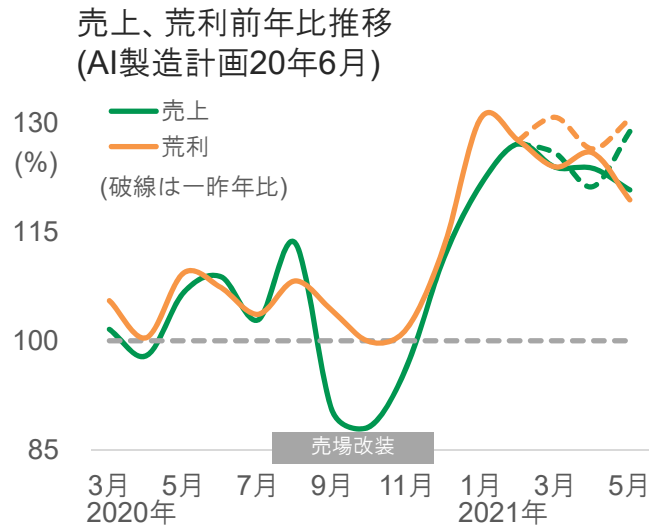
\*20年6月1日 食品館、ザ・プライス20店をヨークに移管

# スーパーストア事業 イトヨーカ堂 ②

## 生産性改善への主な取組み

売上拡大		業務効率化
AI製造計画	AI発注・デジタルプライス	カートレジ
全店(弁当、寿司、惣菜)	全店(加工食品、デイリー食品)	曳舟店

### 先行導入店(曳舟店)の検証 (20年12月食品改装オープン)

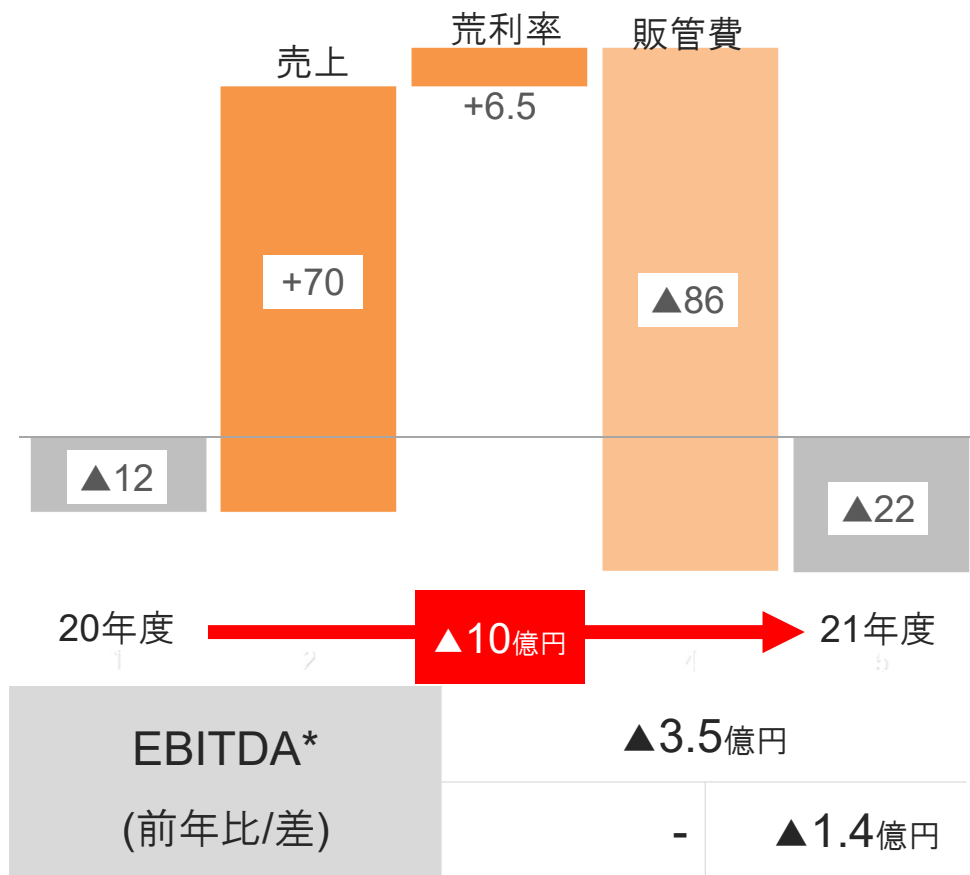


各 施 策 効 果 を 検 証 し 、 取 組 み を 促 進



# 百貨店事業 そごう・西武

## 営業利益増減 (億円)



\* 営業利益+減価償却費

## 事業別増減要因



\*コロナ特損振替後営業利益ベース

# 資金調達と現預金残高について

## Speedway取得に係る資金調達

	時 期	金 額
7&iHD社債発行	20年12月	3,500億円
7&iHD借入	21年1月	4,820億円
SEI社債発行	21年2月	109.5億ドル (12,122億円)
SEI借入	21年5月	22.5億ドル (2,490億円)
合計		22,932億円

## 有利子負債、現預金残高(21年5月末)

(億円)	21年2月末	21年5月末	増減
短期借入金	6,199	6,226	+26
長期借入金 (1年内返済予定含む)	5,093	5,246	+153
社債 (1年内償還予定含む)	6,319	18,338	+12,019
有利子負債計	17,612	29,811	+12,199
(億円)	21年2月末	21年5月末	増減
現金及び預金	21,891	35,670	+13,779

\*為替換算レート:U.S.\$1=110.71円

株式取得は2Q計上のため、1Qでは現預金残高が大幅に増加



# Appendix - 補足資料 -

# セグメント別営業収益・営業利益 (第1四半期)

単位: 億円、%

		営業収益		営業利益		
		前期比	前期差		前期比	前期差
連 結	15,553	111.8	+1,635	775	108.6	+61
国内コンビニエンスストア	2,324	106.2	+135	603	116.8	+86
海外コンビニエンスストア	6,643	112.8	+752	123	107.5	+8.6
ス ー パ ー ス ト ア	4,516	105.5	+233	58	56.3	▲45
百 貨 店	1,003	154.1	+352	▲21	-	▲9.4
金 融 関 連	491	99.5	▲2.4	104	90.8	▲10
専 門 店	672	127.4	+144	▲16	-	+43
そ の 他	61	146.9	+19	10	-	+17
消 去 及 び 全 社	▲160	-	+0.0	▲86	-	▲29

為替換算レート: U.S.\$1=106.09円 1元=16.38円

Copyright (C) 2021 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

# 主要事業会社営業利益 (第1四半期)

単位:億円、%  
[百万ドル、%]

		営業利益		既存店 売上伸び率	商品荒利率 前期差
		前期比	前期差		
セブン - イレブン・ジャパン	603	115.6	+81	+3.3	▲0.2
7-Eleven, Inc. [ドルベース]	177 [167]	106.8 [109.6]	+11 [+14]	+4.7	+0.1
イトーヨーカ堂	6.5	56.2	▲5.0	+13.7 (SC計)	▲0.4
ヨークベニマル (ライフフーズ込み)*	47	65.8	▲24	▲1.0	▲1.0
そごう・西武	▲22	-	▲10	+73.4	+1.0

\* ライフフーズ:主にヨークベニマルの店舗において惣菜を製造・販売しているヨークベニマルの子会社。 ライフフーズ込みの営業利益は管理上の数値

# 特別損失 (第1四半期)

単位: 億円

	20年度	21年度	前期差	主な要因
特別損失合計	406	124	▲281	主にCOVID-19による損失の減少
固定資産廃棄損	24	34	+9.6	店舗改装による増加等
減損損失	36	20	▲16	FOC*(▲14):前期、首都圏食品戦略に伴う事業再編
事業構造改革費用	15	4.9	▲10	IY(▲10):前期、閉店、人事施策等
新型コロナウイルス感染症による損失	295	54	▲240	SEJ(▲42) 加盟店支援金(▲30)、催事中止(▲6.1)等 SEI(▲5.4) 感染対策費用(▲2.8)、従業員手当等(▲2.5) IY(▲56) 固定費振替(▲52)等 SS(▲82) 固定費振替(▲81)等 その他 ロフト(▲10)、7FS(▲8.5)、YB(▲5.4)、AH(▲3.3)

\*FOC:フォーキャスト

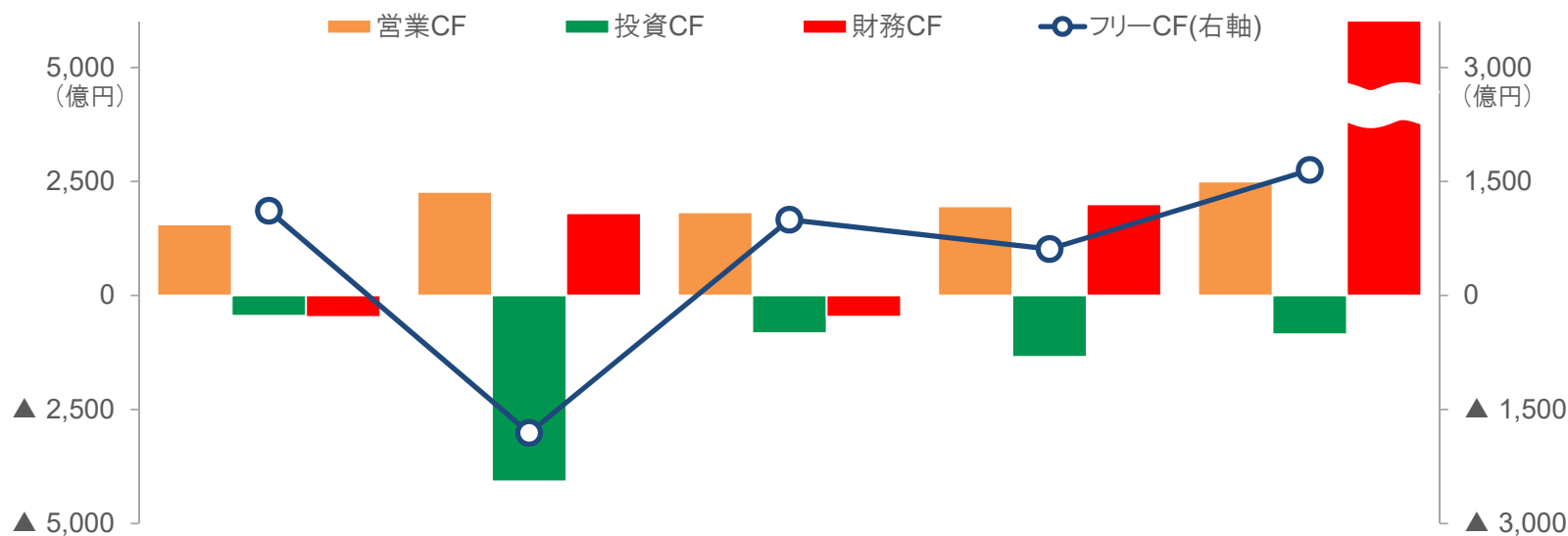
# 連結要約貸借対照表 (2021年5月末)

単位：億円

資産の部 (主要科目のみ)	2021/2	2021/5	前期末差
流動資産	33,502	46,844	+13,341
現金及び預金	21,891	35,670	+13,779
7BK現金及び預け金	9,254	9,494	+239
受取手形及び売掛金	3,181	3,450	+269
ATM仮払金	2,164	896	▲1,268
固定資産	35,940	37,102	+1,162
有形固定資産	22,060	22,869	+809
建物及び構築物	9,940	10,389	+448
土地	7,462	7,565	+102
無形固定資産	6,458	6,841	+382
投資その他の資産	7,421	7,391	▲30
繰延資産	25	24	▲1.8
資産合計	69,468	83,970	+14,502

負債・純資産の部 (主要科目のみ)	2021/2	2021/5	前期末差
負債合計	41,154	54,524	+13,369
流動負債	27,824	28,893	+1,068
支払手形及び買掛金	3,852	4,193	+340
短期借入金	6,199	6,226	+26
1年内償還・返済予定の 社債及び長期借入金	2,136	2,322	+186
預り金	2,364	3,151	+787
ATM仮受金	1,301	488	▲813
銀行業における預金	7,414	7,234	▲180
固定負債	13,330	25,631	+12,300
社債	5,650	17,669	+12,019
長期借入金	3,625	3,592	▲33
純資産合計	28,313	29,445	+1,132
負債・純資産合計	69,468	83,970	+14,502

# 連結キャッシュ・フロー計算書 (第1四半期)



(億円)	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2020年度との差
営業活動によるCF	1,558	2,269	1,822	1,955	2,499	+543
投資活動によるCF	▲444	▲4,076	▲825	▲1,344	▲848	+495
フリーCF	1,114	▲1,807	996	611	1,650	+1,038
財務活動によるCF	▲471	1,801	▲464	1,997	10,994	+8,996
現金及び現金同等物 期末残高	12,711	12,906	13,642	16,141	35,624	+19,482



# 2022年2月期 連結業績見通し (7/1説明会資料再掲)

単位：億円、%

	上期		下期		通期	
		前期比/差		前期比/差		前期比/差
グループ売上*	62,750	115.7 +8,538	72,740	129.3 +16,502	135,490	122.7 +25,041
営業収益	35,160	126.1 +7,275	45,220	151.8 +15,436	80,380	139.4 +22,712
営業利益	1,840	102.4 +42	1,960	105.0 +94	3,800	103.7 +136
経常利益	1,670	95.3 ▲82	1,765	96.9 ▲56	3,435	96.1 ▲138
親会社株主に帰属する 当期純利益	900	124.1 +174	1,000	93.7 ▲67	1,900	106.0 +107
1株あたり 当期純利益 (円)	101.93	+19.79	113.25	▲7.64	215.18	+12.15
<b>EBITDA</b> (営業利益+減価償却費+のれん償却費)	3,374	109.3 +287	4,009	126.0 +826	7,383	117.8 +1,114

\* グループ売上：セブン-イレブン・ジャパン、セブン-イレブン・沖縄及び7-Eleven, Inc.における加盟店売上を含めた数値  
為替換算レート：U.S.\$1=107.00円 1元=16.00円

Copyright (C) 2021 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

# 2022年2月期 セグメント別見通し(新事業セグメント)

単位:億円、%

		営業収益		営業利益			
		前期比	前期差		前期比	前期差	
連	結	80,380	139.4	+22,712	3,800	103.7	+136
国内コンビニエンスストア		8,980	104.6	+392	2,456	105.1	+118
海外コンビニエンスストア		43,710	194.0	+21,176	1,163	117.9	+176
スーパーストア		18,440	101.8	+331	238	80.2	▲58
百貨店・専門店		7,680	112.2	+833	33	-	+207
金融関連		2,040	102.5	+50	331	68.8	▲149
その他		200	115.5	+26	▲5.0	-	+0.7
消去及び全社		▲670	-	▲97	▲416	-	▲158

為替換算レート:U.S.\$1=107.00円 1元=16.00円

## 暮らしとともに ― セブン&アイグループ



当社が開示する情報の中には、将来の見通しに関する事項が含まれる場合があります。  
この事項については、開示時点において当社が入手している情報による経営陣の判断に基づくほか、将来の予測を行うために一定の前提を用いており、様々なリスクや不確定性・不確実性を含んでおります。  
したがって、現実の業績の数値、結果等は、今後の事業運営や経済情勢の変化等の様々な要因により、開示情報に含まれる将来の見通しとは異なる可能性があります。